

茶の湯の名物

細川三斎から松平不昧まで

ほそかわ さんさい

まつだいら ふまい



【茶室「独楽庵」 写真提供：出雲文化伝承館】

茶室「^{どくらくあん}独楽庵」は、千利休が京都・宇治田原に建てたとされ、大名茶人の松平不昧公が江戸・大崎の下屋敷に移築し愛用したものです。出雲文化伝承館にある「独楽庵」は、これを忠実に復元した茶室で、当時の面影を偲ぶことができます。（出雲文化伝承館ホームページより）

出雲市に拠点を置く三斎流の祖・細川忠興、

平成三十年で没後二〇〇年の節目を迎えた

不昧流の祖・松平治郷。

出雲地方にゆかりのある二人の茶人を軸に、

多くの作品に関わってきた講師が語る、

お茶道具にまつわるお話です。

歴史の中で愛されてきた「名物」たちの世界を、

そつと覗いてみませんか。

入場は無料ですが、整理券が必要です。
整理券は、1月5日(土)から、
出雲市内各図書館で
配付します。

入場
無料

たかし
隆氏

ふじはら
藤原

出雲文化伝承館
副館長

講師

対象 一般 (定員100名)
託児はありません

とき 平成31年 2月2日(土)
開場 10:00 講演 10:30~12:00

ところ 出雲中央図書館 2階 多目的室